



透明袋でゴミは減らない！



市は新年度に家庭ごみの透明袋のサンプルを配布し、有料指定袋を導入していこうとしています。その理由に家庭ごみの中に資源ごみが3割入っており、家庭ごみの排出量が減ってないからとのことですが、資源ごみの回収時間の延長や前日から出せるようにしたり古紙回収についても市の検討が必



↑市役所西側に建設中の回収ステーション

要であると質問しました。市は古紙回収は検討するが回収ステーションの抜本改善は示さず、有料指定袋は導入すると一点張りでした。

有料の市営駐車場は反対 **P**

市民会館跡地の南側へ、市営駐車場(20台分)の設置条例が出されました。ゲート式で利用料は



↑歩道橋の奥が予定地

1時間300円(上限400円)です。駐車場予定地の南にある女性活躍センター「あすもあ」への利用者数が増えないなか、有料の市営駐車場の設置条例は、市民体育館や健康増進センターはじめ、公民館などの公共施設駐車場の有料化につながる事から、党議員団は反対しました。

医療費助成が中学卒業まで拡充！

党議員団は、12月議会で採択された請願を早期に実現するため、新年度での実施を申し入れましたが、新年度予算では計上されていませんでした。さらに、3月議会でも医療費助成の拡充を求めたところ、市長は「令和2年度中に中学生の通院医療費自己負担額を月200円に引き下げる準備をする」と答弁しました。中学生まで拡充されていないのは、京都府内26市町村中3つだけとなり、高校生までも拡充されている市町もあります。速やかな実施を求めています。



新年度も待機児童解消できず！



↑定員100人規模の新設民間保育園「かおりのはな保育園」

新年度の保育所入所、申請見込みと待機児童について質したところ、市は申請は1515人(昨年比45人増)で、新年度も待機児童が10人になる見込み、育休中のためきょうだいが休所した子どもは14名で、0~2歳児の新規申請数が多く拡充は難しいと答弁しました。しかし、10人は国基準の待機児童数であり、潜在的にはきょうだいが同じ園に入れられないケースなどが存在し、国基準では、待機児童ゼロの保育ニーズに応えることができません。引き続き待機児童解消のために取り組んでいきます。

5年ぶり水道料金値下げ！



府営水道の建設負担金が55円に引き下げられるのをうけ、基本料金・従量料金ともに口径40mmまでの利用では、6月検針分から値下げとなりました。新料金体系では、20.3%・1573円の値下げになります。(口径20mmの利用で2か月の使用水量が40mまでの場合) 府営水道の導入以来、高くなった市の水道料金ですが、市民の粘り強い運動で3度目の値下げが実現しました。しかし、基本料金で口径40mm以上の契約では値上げとなり、利用者には福祉施設などの公共性の高い施設も含まれることから、今後の対策を強く求めました。



「ぐるっとむこう」バスに乗ろう！

市民念願の「ぐるっとむこう」バスが走り出しましたが乗客数が伸びていません。今の運行形態では乗客数を増やすことには限界があります。党議員団は多くの方が乗りやすくなるようにと、「ぐるっとむこう」バスを利用し盛り上げるとともに、増便や時計回りルートの修正、運転手確保、道路環境整備・改善などの提案をしてきました。高齢化社会が進むとコミバスは必要です。市民協働で「ぐるっとむこう」バスを使いやすくしましょう。



観光交流センターは必要か？

JR向日町駅西北に観光交流センターを設置する条例が提案されました。昨年3月から観光交流センター建設の地域説明会が行われ、市民から「なぜ建設するのか」「運営事業者まかせか」「費用対効果も考えない」となど噴出しました。党議員団は説明会の市民の声や収支予測が不明であること、また長岡京市は「道の駅的施設計画」を断念していることも述べ市を質しましたが、「しっかりやります」の繰り返し答弁のみで、

→建設工事に入った観光交流センター



賛成した議員からも運営の不安など強い懸念が出ました。党議員団は市民合意もなく納得できない税金の使い方であると反対しました。

歴史遺産の保存補助制度を！

向日神社前の門前町として発展した時代から存在した「旅籠・富永屋」が解体されました。建物の老朽化、修繕・保存に関する公的補助が全くなく、所有者の負担が大きくなってきた事が主な理由です。市内の文化・歴史的な価値があるものに対し、市独自の補助制度の創設を求めました。



解体前の富永屋→



監査委員の選任 同意せず


市長は、昨年3月まで市の幹部職員として長年にわたり、大規模開発など市の主要な事業の企画に携わり、市政の中心を担っていた方を監査委員として提案しました。党議員団は、退職後、未だ1年も経っていない元職員が監査することは事業に対しての公平性・中立性の点で問題があるとして不同意としました。

向日町駅に高層ビル出現か？

100m超36階建て

100m規模、36階建て、300戸の高層マンションを建設する計画が浮上してきています。市は駅ビル建設のための用途指定変更、地区計画変更などの支援を行うための予算を、今年度当初予算に盛り込んでいます。市民にとっては、寝耳に水となる高層マンション建設計画は、JRを含む、現在の建設予定地の地権者である、民間企業4社の構成するまちづくり協議会により進められていますが、市民の意見を取り入れる機会は、計画のほぼすべてが固まったのちに行われる、計画縦覧やパブリックコメントでしか用意されていません。

向日町駅前の変化は、向日市の今後のまちづくりに関わる大きな変化であり、市民にとってもその内容は重要なものです。市民の合意と納得の無い形での駅開発は、将来に大きな禍根を残しかねません。



↑100mマンションイメージ図